

県立米子白鳳高等学校特別教室等照明設備LED化改修工事

図面リスト

No	NAME	SCALE
E-0 / 7	表紙・図面リスト	-----
E-1 / 7	電気設備工事特記仕様書(1)	-----
E-2 / 7	電気設備工事特記仕様書(2)	-----
E-3 / 7	配置図・附近案内図	1 / 600
E-4 / 7	管理棟1階平面図(既設・改修後)、照明器具参考姿図	1 / 200
E-5 / 7	管理棟2、3階平面図(既設・改修後)	1 / 200
E-6 / 7	教室棟1、2、3階平面図(既設・改修後)	1 / 200
E-7 / 7	実習棟1階平面図(既設・改修後)	1 / 100



工事名称	図面名称	縮尺	竹尾設備コンサルタント 鳥取県米子市長砂町296-6 TEL 0859(32)2140 2級建築士事務所登録 第05-2003号 二級建築士 竹尾 晃 登録番号 第1830号	承認	担当	製図	日付	管理番号	図面番号
県立米子白鳳高等学校特別教室等照明設備LED化改修工事	表紙・図面リスト	S=----		竹尾		竹尾	R 5.12		E-0/7

電気設備工事特記仕様書

I. 工事概要

1 工事場所 米子市淀江町福岡

2 建物概要

番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備考
1	管理棟	RC	3	2,626	(7) 項	
2	教室棟	RC	3	1,482	(7) 項	
3	実習棟	S	1	476	(7) 項	
4					() 項	
5					() 項	

3 工事種目 (●印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番号					屋外	備考
	1	2	3	4	5		
●電灯設備	○	○	○				
●動力設備							
●電熱設備							
●雷保護設備							
●受変電設備							
●電力貯蔵設備							
●発電設備							
●構内情報通信網設備							
●構内交換設備							
●情報表示設備							
●映像・音響設備							
●拡声設備							
●誘導支援設備							
●テレビ共同受信設備							
●監視カメラ設備							
●駐車場管制設備							
●防犯・入退室管理設備							
●火災報知設備							
●中央監視制御設備							
●医療関係設備							
●構内配電線路							
●構内通信線路							
●テレビ電圧障害防除設備							
●機械設備工事							
●建築工事							

4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

●の付いたものを適用する。

項目	特記事項
電灯設備	●電気方式 幹線 ●単相3線式100/200V ●直流2線式100V 分岐 ●単相2線式 (●100V ●200V) ●直流2線式100V 光源 ●LED ●蛍光灯 ●白熱灯 ●電池内蔵形 ●電源別置形 ●避難灯 ●避難通路 ●廊下通路 ●室内通路
動力設備	●電気方式 幹線 ●三相3線式200V ●単相2線式200V ●単相3線式100/200V 分岐 ●三相3線式200V ●単相2線式 (●100V ●200V)
雷保護設備	●受雷部 ●突針 ●棟上誘体 ●その他金属体 () ●避雷導線 ●建築構造体利用 ●引下げ導線 ●接地極
受変電設備	●電気方式 高圧 三相3線式 6.6kV 低圧 ●三相3線式200V ●単相3線式100/200V ●単相2線式 (●100V ●200V) ●契約電力 改修工事 既存設備 ● kW 新當工事 ●100kW未満 ●100kW以上500kW未満 ●500kW以上 ●設備方式 ●屋内形 ●屋外形 ●機器種類 ●キュービクル式配電盤 (●PF形 ●CB-1形 ●CB-2形) ●高圧スイッチギア、変圧器 ●CB-3形 変圧器 三相 kVA、単相 kVA ●油入 ●モールド 主遮断器 ●限流ヒューズ ●VCB

項目	特記事項
電力貯蔵設備	●直流電源装置 用途 ●非常用照明器具電源および受変電設備制御電源共用 ●受変電設備制御電源専用 ●非常用照明器具電源専用 蓄電池 ●HS形鉛蓄電池 ●MSE形鉛蓄電池 (Ah) ●交流無停電電源装置 (UPS) 形式 ●標仕によるUPS ●簡易形UPS 用途 ●電算機用 ●
発電設備	●自家発電装置 電気方式 三相3線式 ●6.6kV ●210V 機器形式 ●キュービクル形 ●簡易形 ●オープン形 発電機 (kVA以上) 原動機 ●ディーゼル ●ガスタービン 防油堤 ●コンクリート製 ●鉄板製 (●本工事 ●別途工事) ●太陽光発電装置 モジュール ●結晶シリコン ●薄膜 ● ●風力発電装置 風車 ●プロペラ形 ●
通信情報設備	●機器 ●配管のみ ●配管及び配線 ●構内交換設備 ●交換機 ●局線中継台 ●電話機 ●ボタン電話装置 ●配管のみ ●配管及び配線 ●情報表示設備 ●マルチサイン装置 ●出退表示装置 ●時刻表示装置 ●映像・音響設備 ●増幅器 ●スピーカー ●プロジェクタ ●スクリーン ●その他 () 用途 ●一般放送 ●非常放送 ●個別放送 ●拡声設備 ●音声誘導装置 ●身体障害者用インターホン装置 ●トイレ等呼出し装置 ●誘導支援設備 ●インターホン ●テレビインターホン ●ナースコール ●アンテナ (●UHF ●BS ●CS) ●CATV ●テレビ共同受信設備 ●カメラ ●ビデオモニタ ●タイムラプスVTR ●配管のみ ●配管及び配線 ●監視カメラ設備 ●駐車場管制設備 車両検知方式 ●光線式 ●ループコイル式 ●防犯・入退室管理設備 機器 (●本工事 ※別途工事) 配管 (●本工事 ●別途工事) 配線 (●本工事 ※別途工事) ●自動火災報知設備 ●受信機 (●P型 ●R型) ●副受信機 ●中継器 ●感知器 ● ●自動閉鎖設備 運動制御器 (●回線 ●単独 ●火報受信機と一体) 感知器 (●共用 ●専用) ●非常警報設備 複合装置 ●一体形 (●一般型 ●防雨型) ●単独 ●ガス漏れ火災警報設備 受信機 (●回線 ●単独 ●火報受信機と一体 ●LPガス用 ●都市ガス用)
中制央御監視設備	●形式 ●警報盤 ●表示操作盤 ●監視制御装置 ●監視制御対象設備 ●動力設備 ●受変電設備 ●自家発電設備 ●防災設備 ●照明制御 ●給排水設備 ●空調設備 ●伝送方式 ●アナログ方式 ●デジタル方式
構内配電線路	●電気方式 三相3線式 (●6.6kV ●200V) ●単相3線式100/200V ●単相2線式 (●100V ●200V) ●施工方法 ●地中埋設式 ●架空線式 ●外灯点滅方式 ●手動 ●自動 (●タイマー ●自動点滅器 ●中央監視)
構内線通路	●用途 ●電話用 ●時計拡声用 ●火災報知用 ●インターホン用 ●情報通信網用 ●CATV ●施工方法 ●地中埋設式 ●架空線式
テレビ設備	●対策方策 ●都市形CATVへの加入 ●共同受信方式 (●共同アンテナ ●館内用アンテナ用) ●責任分界点 ●各戸の保安器一次側 ●

II. 特記仕様

1 一般事項

- (1)現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様等のうち●印の付いたものによる。
●公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「標準仕様書」という。)
●公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「改修標準仕様書」という。)
●公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「標準図」という。)
(2)国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針(令和4年版)」(以下「監理指針」という。)を適用する。
(3)機械設備工事及び建築工事を本工事を含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特記事項

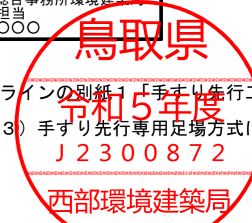
- (1)項目は番号に○印の付いたものを適用する。
(2)特記事項のうち選択する事項は●印の付いたものを適用する。
●の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。●と●の付いた場合は共に適用する。
(3)一般共通事項のうち () 項は、●建築 ●機械設備 工事特記仕様書による。

項目	特記事項
1 官公署その他への手続	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。
2 電気保安技術者	工事現場におき電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。 なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1.3.2によるものとし、一般用電気工作物に係る工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。 契約電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士より施工を行う。 建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。 引渡しを要するもの ※無し ●有り () 引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。 特別管理産業廃棄物 ※無し ●有り ●本工事において調査を行う ● (●PCB使用機器 ●アスベスト含有設備資材機材 (●配線用遮断機 ●)) PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 撤去予定機器の微量PCB分析 ※無し ●有り
3 電気工事士	
4 工事安全計画書等	
5 発注者の分析及び処理	

項目	特記事項																																																																																																									
6 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。また、製造者等が定められている機材については、Ⅲ. 機材によるほかこれらと同等以上のものとする。ただし、これらと同等以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ監督職員に提出して承諾を受ける。 なお、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。																																																																																																									
7 機材の品質・性能証明	使用する機材がⅢ. 機材による場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2(2)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績書等は除く。提出した施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。																																																																																																									
8 施工図等	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編 平成30年版」によるほか、監督職員の指示による。下記のもの提出する。																																																																																																									
9 完成写真等	<table border="1"><thead><tr><th>区分</th><th>分類・規格</th><th>撮影箇所</th><th>部数</th><th>電子データの提出</th></tr></thead><tbody><tr><td>工事写真</td><td>カラーサービス判</td><td>各工種工程毎</td><td>※1部 ●部</td><td>●要 ●不要</td></tr><tr><td>完成写真</td><td>カラーサービス判</td><td>監督職員の指示による</td><td>※2部 ●部</td><td>●要 ●不要</td></tr></tbody></table>	区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出	工事写真	カラーサービス判	各工種工程毎	※1部 ●部	●要 ●不要	完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※2部 ●部	●要 ●不要																																																																																										
区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出																																																																																																						
工事写真	カラーサービス判	各工種工程毎	※1部 ●部	●要 ●不要																																																																																																						
完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※2部 ●部	●要 ●不要																																																																																																						
10 完成図等	次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。 <table border="1"><thead><tr><th>区分</th><th>名称</th><th>部数</th></tr></thead><tbody><tr><td>※完成図原図</td><td>完成図 ●原紙 ●CADデータ ●PDFデータ 施工図 ●原紙 ●CADデータ ●PDFデータ</td><td>1部</td></tr><tr><td>※完成図 2つ折製本</td><td>●完成図 ※完成図(縮小版) ●施工図</td><td>※2部 ●部</td></tr><tr><td>※完成図書</td><td>●完成図(縮小版) ※A4版市販ファイル ●主要機器図 ●A4版黒表紙製本 ●試験成績書</td><td>※2部 ●部</td></tr><tr><td>※保守用説明書 A4版ファイル</td><td>※保守に関する指導案内書 ※機器取扱説明書 ※主要機器一覧表</td><td>※2部 ●部</td></tr><tr><td>※保証書</td><td></td><td>1部</td></tr><tr><td>※官公署届出書類</td><td></td><td>1部</td></tr></tbody></table> ●原図ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。	区分	名称	部数	※完成図原図	完成図 ●原紙 ●CADデータ ●PDFデータ 施工図 ●原紙 ●CADデータ ●PDFデータ	1部	※完成図 2つ折製本	●完成図 ※完成図(縮小版) ●施工図	※2部 ●部	※完成図書	●完成図(縮小版) ※A4版市販ファイル ●主要機器図 ●A4版黒表紙製本 ●試験成績書	※2部 ●部	※保守用説明書 A4版ファイル	※保守に関する指導案内書 ※機器取扱説明書 ※主要機器一覧表	※2部 ●部	※保証書		1部	※官公署届出書類		1部																																																																																				
区分	名称	部数																																																																																																								
※完成図原図	完成図 ●原紙 ●CADデータ ●PDFデータ 施工図 ●原紙 ●CADデータ ●PDFデータ	1部																																																																																																								
※完成図 2つ折製本	●完成図 ※完成図(縮小版) ●施工図	※2部 ●部																																																																																																								
※完成図書	●完成図(縮小版) ※A4版市販ファイル ●主要機器図 ●A4版黒表紙製本 ●試験成績書	※2部 ●部																																																																																																								
※保守用説明書 A4版ファイル	※保守に関する指導案内書 ※機器取扱説明書 ※主要機器一覧表	※2部 ●部																																																																																																								
※保証書		1部																																																																																																								
※官公署届出書類		1部																																																																																																								
11 他工事との取合い	<table border="1"><thead><tr><th colspan="2">他工事との取合い</th><th>電気設備</th><th>機械設備</th><th>建築</th></tr></thead><tbody><tr><td>●コンクリート壁、床、梁貫通部</td><td>補強</td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td></td><td>スリーブ・箱入</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>●鉄骨造の開口及び補強</td><td></td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td>●照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート(くぎ処理共)</td><td></td><td>※</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>●軽鋼鉄骨壁のボックス取付用下地</td><td></td><td>※</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>●埋込分電盤・端子盤・フルボックスの仮枠及び埋込部分の補強</td><td>仮枠</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td></td><td>補強</td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td>●OAフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強</td><td></td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td>●埋込形機器取付用の天井、壁の下地材・仕上げ材</td><td>切り込み</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td></td><td>補強</td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td>●自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ</td><td></td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td>●電気室、自家発電機室などの基礎及びビット(蓋を含む)</td><td></td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td>●機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線</td><td></td><td>●</td><td>※</td><td>●</td></tr><tr><td>●機器用コントロールスイッチ(空調機、給湯器等)の取付及び配線</td><td></td><td>●</td><td>※</td><td>●</td></tr><tr><td>●テレビアンテナ</td><td>基礎</td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td></td><td>アンカーボルト</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>●天井点検口</td><td></td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td>●自立型制御盤の基礎</td><td></td><td>※</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td></td><td>屋内・屋外設置</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td></td><td>屋上設置</td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr></tbody></table>	他工事との取合い		電気設備	機械設備	建築	●コンクリート壁、床、梁貫通部	補強	●	●	※		スリーブ・箱入	※	●	●	●鉄骨造の開口及び補強		●	●	※	●照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート(くぎ処理共)		※	●	●	●軽鋼鉄骨壁のボックス取付用下地		※	●	●	●埋込分電盤・端子盤・フルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮枠	※	●	●		補強	●	●	※	●OAフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		●	●	※	●埋込形機器取付用の天井、壁の下地材・仕上げ材	切り込み	※	●	●		補強	●	●	※	●自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		●	●	※	●電気室、自家発電機室などの基礎及びビット(蓋を含む)		●	●	※	●機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		●	※	●	●機器用コントロールスイッチ(空調機、給湯器等)の取付及び配線		●	※	●	●テレビアンテナ	基礎	●	●	※		アンカーボルト	※	●	●	●天井点検口		●	●	※	●自立型制御盤の基礎		※	●	●		屋内・屋外設置	※	●	●		屋上設置	●	●	※
他工事との取合い		電気設備	機械設備	建築																																																																																																						
●コンクリート壁、床、梁貫通部	補強	●	●	※																																																																																																						
	スリーブ・箱入	※	●	●																																																																																																						
●鉄骨造の開口及び補強		●	●	※																																																																																																						
●照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート(くぎ処理共)		※	●	●																																																																																																						
●軽鋼鉄骨壁のボックス取付用下地		※	●	●																																																																																																						
●埋込分電盤・端子盤・フルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮枠	※	●	●																																																																																																						
	補強	●	●	※																																																																																																						
●OAフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		●	●	※																																																																																																						
●埋込形機器取付用の天井、壁の下地材・仕上げ材	切り込み	※	●	●																																																																																																						
	補強	●	●	※																																																																																																						
●自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		●	●	※																																																																																																						
●電気室、自家発電機室などの基礎及びビット(蓋を含む)		●	●	※																																																																																																						
●機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		●	※	●																																																																																																						
●機器用コントロールスイッチ(空調機、給湯器等)の取付及び配線		●	※	●																																																																																																						
●テレビアンテナ	基礎	●	●	※																																																																																																						
	アンカーボルト	※	●	●																																																																																																						
●天井点検口		●	●	※																																																																																																						
●自立型制御盤の基礎		※	●	●																																																																																																						
	屋内・屋外設置	※	●	●																																																																																																						
	屋上設置	●	●	※																																																																																																						
12 工事用電力・水・その他表示板	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。 設ける。(寸法等は下図による。建築工事、機械設備工事等と一緒に表示する) ※ 工事表示板 ● お願い表示板 <table border="1"><thead><tr><th colspan="2">900</th><th colspan="2">1,200</th></tr></thead><tbody><tr><td>建築工事中</td><td>御通行中の皆様へ</td><td></td><td></td></tr><tr><td>工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積 ○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○環境建築局建築住宅課 ○○○○○設計 連絡先 昼間 ○○-○○○○ 夜間 ○○-○○○○ 現場責任者 ○○ ○○</td><td>工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積 ○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○環境建築局建築住宅課 ○○○○○設計 連絡先 昼間 ○○-○○○○ 夜間 ○○-○○○○ 現場責任者 ○○ ○○</td><td>工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積 ○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○環境建築局建築住宅課 ○○○○○設計 連絡先 昼間 ○○-○○○○ 夜間 ○○-○○○○ 現場責任者 ○○ ○○</td><td>工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積 ○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○環境建築局建築住宅課 ○○○○○設計 連絡先 昼間 ○○-○○○○ 夜間 ○○-○○○○ 現場責任者 ○○ ○○</td></tr></tbody></table>	900		1,200		建築工事中	御通行中の皆様へ			工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積 ○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○環境建築局建築住宅課 ○○○○○設計 連絡先 昼間 ○○-○○○○ 夜間 ○○-○○○○ 現場責任者 ○○ ○○	工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積 ○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○環境建築局建築住宅課 ○○○○○設計 連絡先 昼間 ○○-○○○○ 夜間 ○○-○○○○ 現場責任者 ○○ ○○	工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積 ○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○環境建築局建築住宅課 ○○○○○設計 連絡先 昼間 ○○-○○○○ 夜間 ○○-○○○○ 現場責任者 ○○ ○○	工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積 ○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○環境建築局建築住宅課 ○○○○○設計 連絡先 昼間 ○○-○○○○ 夜間 ○○-○○○○ 現場責任者 ○○ ○○																																																																																													
900		1,200																																																																																																								
建築工事中	御通行中の皆様へ																																																																																																									
工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積 ○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○環境建築局建築住宅課 ○○○○○設計 連絡先 昼間 ○○-○○○○ 夜間 ○○-○○○○ 現場責任者 ○○ ○○	工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積 ○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○環境建築局建築住宅課 ○○○○○設計 連絡先 昼間 ○○-○○○○ 夜間 ○○-○○○○ 現場責任者 ○○ ○○	工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積 ○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○環境建築局建築住宅課 ○○○○○設計 連絡先 昼間 ○○-○○○○ 夜間 ○○-○○○○ 現場責任者 ○○ ○○	工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積 ○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月○日から○年○月○日まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○環境建築局建築住宅課 ○○○○○設計 連絡先 昼間 ○○-○○○○ 夜間 ○○-○○○○ 現場責任者 ○○ ○○																																																																																																							
14 足場	「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別添「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据え置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。																																																																																																									

工事名称	図面名称	縮尺	承認	担当	製図	日付	管理番号	図面番号
県立米子白鳳高等学校特別教室等照明設備LED化改修工事	電気設備工事特記仕様書(1)	----	竹尾		竹尾	R 5.12		E-1/7

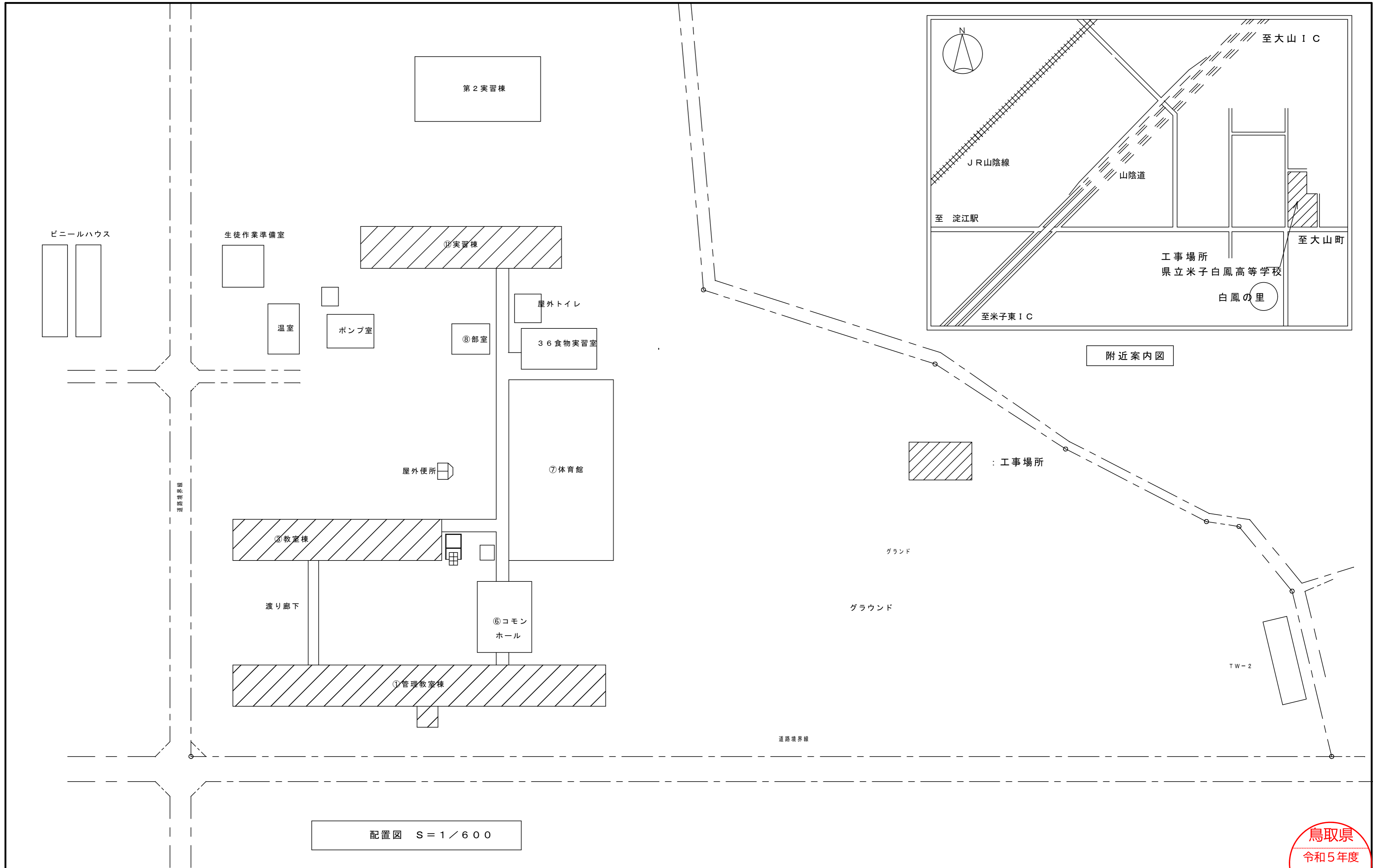
竹尾設備コンサルタント
鳥取県米子市長砂町296-6 TEL 0859(32)2140
2級建築士事務所登録 第05-2003号 二級建築士 竹尾 晃 登録番号 第1830号



一般共通事項	15 工事用仮設物 16 土工事 17 電線類 18 電線本数・管路等 19 屋外露出配管の仕上げ 20 露出配管の塗装(付属品含む) 21 波付硬質合成樹脂管(FEP) 22 フラッシュプレートの材質 23 カバープレートの表示 24 プルボックスの塗装 25 耐震施工	構内につくることが ※ できる ● できない 埋め戻し土 ※ 根切土の中の良質土 ● 山砂の類() ● 真砂土() 建設発生土の処理 ● 構外に搬出し適切に処理 ※ 構内敷きならし ● 構内の指示する場所に堆積 本工事は環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。 EM電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。 通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。 盤内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。 ハーネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。 分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。 屋外露出配管(厚鋼電線管)で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっき仕上げ[めっき付着量 300g/m ² 以上]とする。 塗装する部分 ● 屋上 ● 屋側 ● 屋外 ● 廊下 ● 機械室 ● 居室() ● 波付硬質合成樹脂管(FEP)を使用する場合は不燃又は難燃性とする。 ● 金属製(ステンレス、新金属も含む) ● 樹脂製 シール等を貼付し、用途を表示する。 ステンレス製プルボックスの塗装 ※ 無(素地仕上) ● 有(指定色仕上) 設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。 1) 機器の据付け及び取付け 設計用水平地震力は、機器重量[kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度	26 接地極	接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極	27 屋上、屋側の支持金物等 28 結露防止 29 アスベスト含有建材の処理	20 補修など 31 はつり 32 はつり工事における非破壊検査 33 あと施工アンカー 34 室内空気中の化学物質の濃度測定 35 火災保険等 36 鳥取県公共事業環境配慮指針 37 建築物省エネ法 ① 照明器具 ② 一般照明の照度測定 3 非常用照明の照度測定 4 照明制御の照度測定等 2 機器への接続 3 大地抵抗率の測定 2 外部雷保護設備接地システム 1 変圧器移動車輪 2 デマンド監視装置 3 盤内照明 1 交流無停電電源装置(UPS) 1 自家発電装置 ● ディーゼル発電装置 ● ガスエンジン発電装置 ● ガスタービン発電装置 ● 熱供給発電装置 ● 燃料電池発電装置 2 太陽光発電装置 3 風力発電装置 1 交換装置 2 保安器用接地 3 壁付電話機との接続 4 回線数 5 電話機 6 電話機への配線 1 マルチサイン装置 2 出退表示装置 3 時刻表示装置 1 プロジェクタ	工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷した場合は、既成にない補修する。 既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。 探査方法 ※ 電磁誘導式 ● 放射線透過検査 ● 1) 施工後確認試験 ※ 行わない ● 行う 試験方法 引張試験機による引張試験 確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引抜き力以上 試験箇所数 1施工単位に対し1本以上 対象機器 ● 配電盤 ● 発電装置 ● 直流電源装置 ● 太陽光発電装置 実施する。 工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。 (保険の加入期限は、工事完成引渡しまで[概ね工期+21日]とする。) ※ 対象工事 ※ 対象工事 1) LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。 LEDの光源色 (※ 昼白色 ● 温白色 ● 電球色) 測定結果を監督職員に提出する。(測定箇所等は、監督職員の指示による。) ※ 設置した各部屋2箇所以上 ● 明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。 照度測定時期 100%点灯時(※ 夜間 ● 昼間) 調光制御点灯時(※ 夜間 ● 昼間) ※ 電動機などへの接続は本工事とする。 ● 別途工事 ● 工事着手前に大地抵抗率を測定し、測定表及び接地極省略判定記録書を監督職員に提出する。 ● 構造体利用接地極 ● A型接地極 ● B型接地極 7.5kVA以上に取付。 ● 本工事 ● 別途工事 前・後に設置する。 停電補償時間(分) 方式(● 常時インバータ給電方式 ● ラインインタラクティブ方式 ● 常時商用給電方式) 運転時間(h) 系統連系(● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無) 出力(kW) 配電盤外側(● 有 ● 無) 保安装置(重故障項目特記 ● 有 ● 無) 外部用端子(● 要 ● 不要) 減圧水槽及び初期注水槽の材質(● 鋼板製 ● ステンレス鋼板製) オイルタンク(● 地下 ● 屋内) 据付:機械設備工事標準図(● 施工30、32(タンク室無し) ● 施工31、33(タンク室有り)) 燃料小出槽(※):返油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは通過形接点とする。 材質(● 鋼板製 ● ステンレス製) 燃料油等(● 灯油 ● 軽油 ● 重油 ● 燃料ガス()) 排気系統配管断熱材の厚さ(mm) ばい煙測定口(● 設ける ● 設けない) 排気ガスに含まれる窒素酸化物(以下) 運転音(dB以下) 系統連系(● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無) 公称最大出力(kW) 耐風速(m/s) パワーコンディショナ(相線式 V) 定格容量(kW) 自立運転機能(● 有 ● 無) 表示装置(● 有 ● 無) 方式(※ 液晶 ●) 系統連系(● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無) 定格出力(kW) 局線応答方式(● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアルイン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式) 停電補償時間(分) ※ 本工事 ● 別途工事 ※ モジュラージャック ● 電話用プレート 内線 / / 回線 局線 / / 回線(現用/実装/容量) ● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台 ● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台 卓上電話機1台につき次のものを見込む。 ● ボタン電話機(● EM-BTIEE 0.4-2P ●) (※ 15m ●) ● 内線電話機(● EM-TIEF 0.65-2C ● TIVF 0.65-2C) (※ 15m ●) ● 多機能電話機(● EM-BTIEE 0.4-2P ●) (※ 15m ●) ● IP電話機(● EM-UTP 0.5-4P ●) (※ 15m ●) イメージキャナ(● 設ける ● 設けない) 制御装置(● 壁掛形 ● 埋込形 ● 据置形) 呼出機能(● 有 ● 無) 方式(● 発光ダイオード ● 液晶 ●) 親時計(● 壁掛形 回線 ● ラック形 回線) 太陽電池式屋外時計(点灯時間 h 点灯保証日数 日) 光出力(● I形 ● II形 ● III形) 解像度(● A形 ● B形 ● C形) コントラスト比(● X形 ● Y形)	10 拡声設備 11 誘導装置 12 火災報知設備 13 構内配電線路 14 構内通信線路 15 テレビ電波受信障害調査 16 その他 17 電力共通 18 電灯 19 動力 20 構内交換 21 電気時計 22 拡声	1 増幅器 2 音声誘導装置 1 自動火災報知設備 2 自動閉鎖設備 3 ガス漏れ火災警報設備 1 施工方法 2 地中箱 3 高圧負荷開閉器 4 高圧ケーブルの端部 5 高圧ケーブルの屋外端部処理 6 標識シート 7 照明用ポール 1 施工方法 2 地中箱 3 標識シート 1 調査仕様 2 テレビ電波受信障害調査時期 3 受信する受信波及び地点数 4 報告書提出部数 1 機器取付高 機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。	形式(● 卓上形 ● ラック形) 定格出力(W) 性能(● Hi形 ● Lo形) ● 増幅器の入出力配線と外部配管(壁ボックス等)の接続はコネクタによる。 検出方式(● 磁気方式 ● 無線方式 ● 画像認識方式) 受信機(● 型級 回線(番番型) ● 複合形 ● 単独形) ● 防火戸用(※ ラッチ式 ● 電磁式) ● 防煙ダンパー用(※ 電動復帰 ● 手動復帰) ● 防火シャッター用(※ 別途工事 ● 本工事) 検知器(● 天井取付形 ● 壁取付形) 埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ● GL-600以上(● 車路 ● 高圧配線 ● 幹線 ●) 蓋の記号表示は鋳型流込み(鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入)とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。 ● 閉鎖形(● 軽耐塩形 ● 重耐塩形) ● 地絡継電器付(※ 方向性 ● 無方向性) ● 避雷器内蔵 ※ 別置制御装置までの制御ケーブルを付属する。 高圧ケーブルの高端部にシースの縮み対策(熱縮テープによるシースずれ止め対策等)を行う。 ● 一般形 ● 耐塩形 ※ 高圧 ● 低圧 照明用ポールには配線用遮断器(トリップ機能なし)又はカットアウトスイッチ(素通しヒューズ)を内蔵する。ただし、ガーデンライトは除く。 埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ● GL-600以上(●) 蓋の記号表示は鋳型流込み(鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入)とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。 ● データ回線 ● 電話 ● CATV ● 図面に記載されていない事項は、すべて(一社)日本CATV技術協会の「建造物によるテレビ受信障害調査要領」及び「建造物によるテレビ受信障害調査要領(地上デジタル放送)」の最新版により調査を行い、同協会の技術審査を受けるものとする。 ※ 事前 ● 中間 ※ 事後 中継局 波: 地点 中継局 波: 地点 ※ 事前 3部 ● 中間 部 ※ 事後 3部 名 称 測 点 取付高(mm) 取引用計器 地上~窓中心 1,800~2,000 引込開閉器 地上~中心 1,800~2,200 分電盤・OA盤・実験盤 床下~中心 1,500(上端1,900以下) スイッチ " 1,300 " (多機能トイレ) " 1,100 コンセント(一般) " 300 " (和室) " 150 " (台上) 台上~中心 150 " (土間) 床上~中心 800~1,300 " (車椅子用) " 900 ブラケット(一般) " 2,100~2,300 " (踊場) " 2,000~2,500 " (鏡上) 鏡上端~中心 150 壁掛形制御盤 床上~中心 1,500(上端1,900以下) 手元開閉器 " 1,500 操作スイッチ " 1,300 端子盤 床上~下端 300 保安器箱 天井下~上端 200 壁付アウトレット 床上~中心 300 " (和室) " 150 壁掛形親時計 床上~中心 1,500(上端1,900以下) 子時計 " 天井高×0.9 壁掛形スピーカ 床上~中心 天井高×0.9 壁付アンテナ " " 1,300 2) 工事のため送電線及び配電線の近くで作業するときは、事前に中国電力に連絡し、事故防止に努めるものとする。	名 称 測 点 取付高(mm) 表示盤 床上~中心 天井高×0.9 壁付発信器 " 1,300 ベル、ブザー、チャイム " 2,300 受付押ボタン(一般) " 1,300 電源箱 床上~下端 300 外部受付用インターホン(子機) 標準図による 壁付インターホン(上記以外) 床上~中心 1,300 壁付押ボタン(多機能トイレ) " 900 壁付押ボタン(多機能トイレ) " 300 床転倒時用 " " 300 機器収容箱 天井下~上端 200 テレビ端子 床上~中心 300 " (和室) " 150 受信機・副受信機 床上~操作部 800~1,500 機器収容箱 " 800~1,500 発信機 床上~中心 800~1,500 ベル 天井下~上端 200 表示灯 " 200 ガス漏れ中継器 天井下~中心 300 検知器(都市ガス) 天井下~下端 300 " (LPガス) 床上~上端 300
	工事名称	図面名称	縮尺	承認	担当	製図	日付	管理番号	図面番号					
県立米子白鳳高等学校特別教室等照明設備LED化改修工事	電気設備工事特記仕様書(2)	----	竹尾		竹尾	R 5.12		E - 2/7						



竹尾設備コンサルタント
鳥取県米子市長砂町296-6 TEL 0859(32)2140
2級建築士事務所登録 第05-2003号 二級建築士 竹尾 晃 登録番号 第1830号

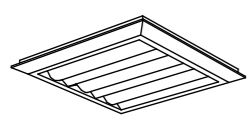





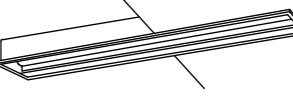


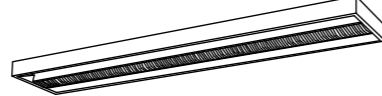

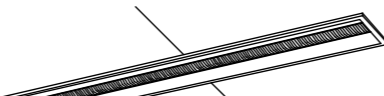


配置図 S = 1 / 600

工事名称 県立米子白鳳高等学校特別教室等照明設備LED化改修工事	図面名称 配置図、附近案内図	縮尺 S=1/600	竹尾設備コンサルタント 鳥取県米子市長砂町296-6 TEL 0859(32)2140 2級建築士事務所登録 第05-2003号 二級建築士 竹尾 晃 登録番号 第1830号	承認	担当	製図	日付	管理番号	図面番号
				竹尾		竹尾	R 5.12		E - 3 / 7

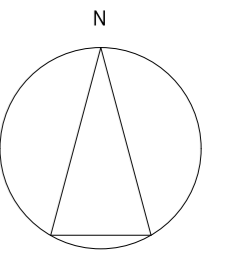
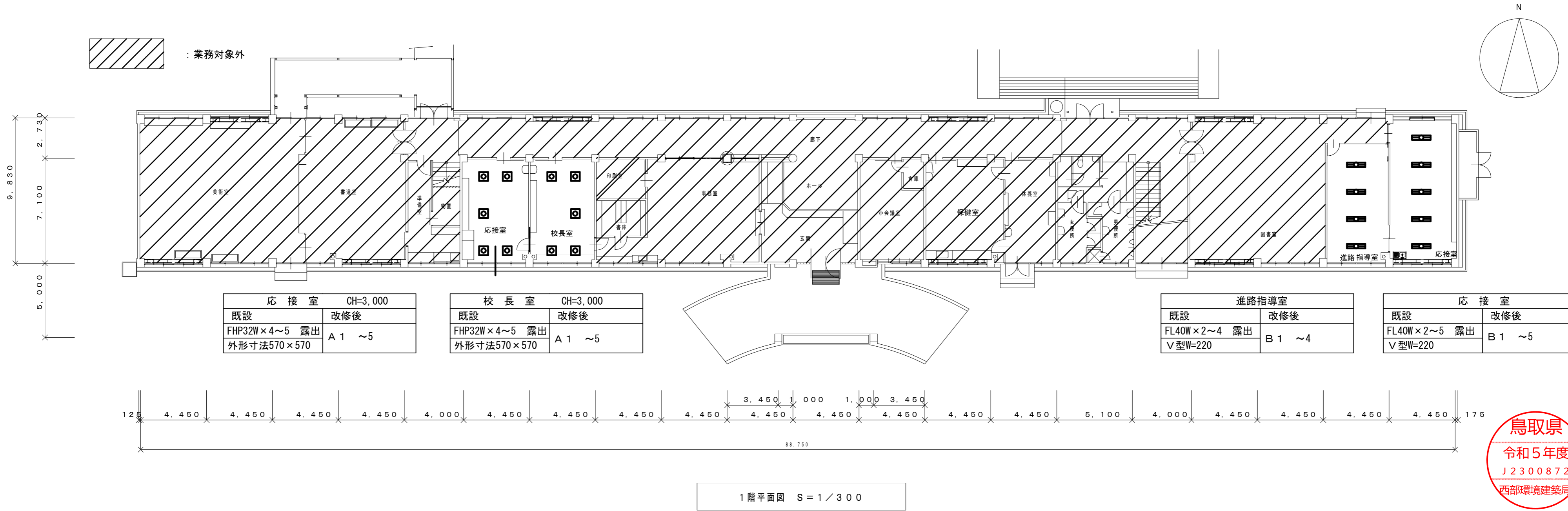


【照明器具参考図】

<p>A1 LEDベースライト 直付下面開放</p>  <p>□570、調光可能タイプ(約10~100%) 電圧:100~242V、電力:60W 光源寿命:40000時間(光束維持率85%)、Ra:83 本体:鋼板(高反射白色粉体塗装) 枠:鋼板(高反射白色粉体塗装) 点灯ユニット(カバー):ポリカーボネート(乳白) 昼白色(5000K)、7970lm 調光はしない XL474PEVLA9</p>	<p>B1 直付型40形 W230</p>  <p>一般タイプ、6900lmタイプ 消費電力4.3、1W、定格出力型、電圧100~242V 本体:鋼板(白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 LSS10-4-65</p>	<p>B2 直付型40形 W230</p>  <p>一般タイプ、10000lmタイプ 消費電力5.6W、定格出力型、電圧100~242V 本体:鋼板(白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 XLX400DENCLE9</p>	<p>B3 直付型40形 W230プラススイッチ付</p>  <p>一般タイプ、5200lmタイプ 消費電力31.9W、定格出力型、電圧100~242V 本体:鋼板(白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 LSS10-4-48 相当</p>	<p>B4 直付型40形 W150</p>  <p>一般タイプ、3200lmタイプ 消費電力20.6W、定格出力型、電圧100~242V 本体:鋼板(白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 LSS9-4-30</p>	<p>C1 直付40型 黒板灯</p>  <p>集光プリズムタイプ・一般タイプ、6900lmタイプ 消費電力4.3、1W、定格出力型、電圧100~242V 本体:鋼板(高反射白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(プリズム) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 LSS13-4-62</p>	<p>C2 埋込40型 黒板灯</p>  <p>集光プリズムタイプ・一般タイプ、5200lmタイプ 消費電力31.9W、定格出力型、電圧100~242V 本体:鋼板(高反射白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(プリズム) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 LRS8-4-43</p>
<p>D1 直付型40形 ベースライト</p>  <p>一般タイプ、6900lmタイプ 消費電力4.3、1W、定格出力型、電圧100~242V 反射板:鋼板(高反射白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 LSS6-4-65</p>	<p>D2 直付型40形 ベースライト</p>  <p>一般タイプ、5200lmタイプ 消費電力31.9W、定格出力型、電圧100~242V 本体:亜鉛鋼板 反射板:鋼板(高反射白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 LSS6-4-48</p>	<p>D3 直付型40形 グレアセーブ</p>  <p>マルチコンフォートタイプ、一般タイプ、6900lmタイプ 消費電力4.3、1W、定格出力型、電圧100~242V 約10~100%連続調光型、調光はしない 本体:亜鉛鋼板、反射板:鋼板(高反射白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵 XLX460SKNTLE9</p>	<p>E1 直付型40形 反射笠型</p>  <p>一般タイプ、6900lmタイプ 消費電力4.3、1W、定格出力型、電圧100~242V 本体:鋼板(白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 XLX460KENPLE9</p>	<p>F1 埋込40形グレアセーブ W220</p>  <p>マルチコンフォートタイプ、一般タイプ6900lmタイプ 消費電力4.3、1W、定格出力型、電圧100~242V 本体:亜鉛鋼板 反射板:鋼板(高反射白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 XLX460UKNTLE9</p>	<p>特記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 図中太線で示す照明器具は、原則既設器具と同じ場所でLED照明器具に更新すること。 2. 既設吊ボルトは原則再利用可とする。再利用できない状態または吊ボルトがない場合は、あと施工アンカーによりスラブ又は構造体に支持すること。(重量3Kg未満の器具を除く)構造体からの支持が困難な場合は、天井下地材からのからの支持とし、落下防止措置を講じること。 3. 特記無き配管、線び、配線及びボックス類は既設再利用とする。 4. 埋込器具の更新に当たっては、既設器具の開口寸法を調査し機種選定を行うこと。同一埋込寸法の機種がない場合は、リニューアルプレートとの併用も可とする。 5. 作業に伴う足場、養生、片付け清掃等は本工事とする。 6. 施設を使用しながらの工事のため、既設を十分調査し、移動経路、仮設計画等施設運用に支障の無いよう、施設管理者、及び監督員と調整し施工すること。 7. 施工前に照度測定を行い、更新で選定した機種の照度計算書を監督員に提出し確認を得ること。また、施工後の照度測定ヶ所は監督員の指示による。 8. 天井材の加工が必要となった場合は、アスベスト含有の有無を調査し、監督員に報告すること。 9. 撤去後の照明器具は、安定器及びコンデンサにPCB含有の有無を確認し、監督員に報告すること。万一含有が確認されたら、監督員に報告し施設管理者に協力し適正に保管又は処分すること。 	

【照明器具特記】

1. 図中公共品番以外の品番は参考とする。
2. 消費電力はJIS C 8105-3による。
3. 器具開口寸法は既設と同等品を選定する。但し、これによらない場合はリニューアルプレートも可とする。
4. 非常照明点検用リモコンスイッチ2個を納入すること。

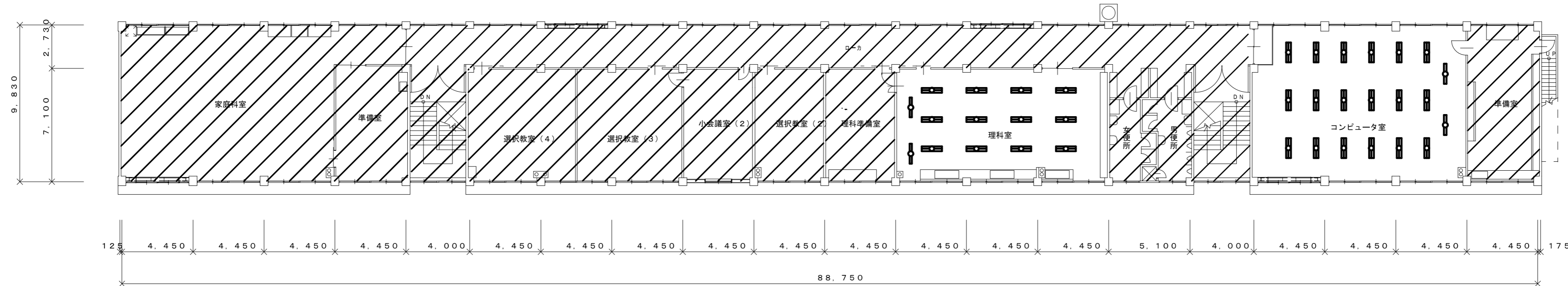


鳥取県
令和5年度
J2300872
西部環境建築局

工事名称	図面名称	縮尺	竹尾設備コンサルタント 鳥取県米子市長砂町296-6 TEL 0859(32)2140 2級建築士事務所登録 第05-2003号 二級建築士 竹尾 晃 登録番号 第1830号	承認	担当	製図	日付	管理番号	図面番号
県立米子白鳳高等学校特別教室等照明設備LED化改修工事	管理棟1階平面図(既設・改修後)、照明器具参考図	S=1/300		竹尾		竹尾	R5.12		E-4/7

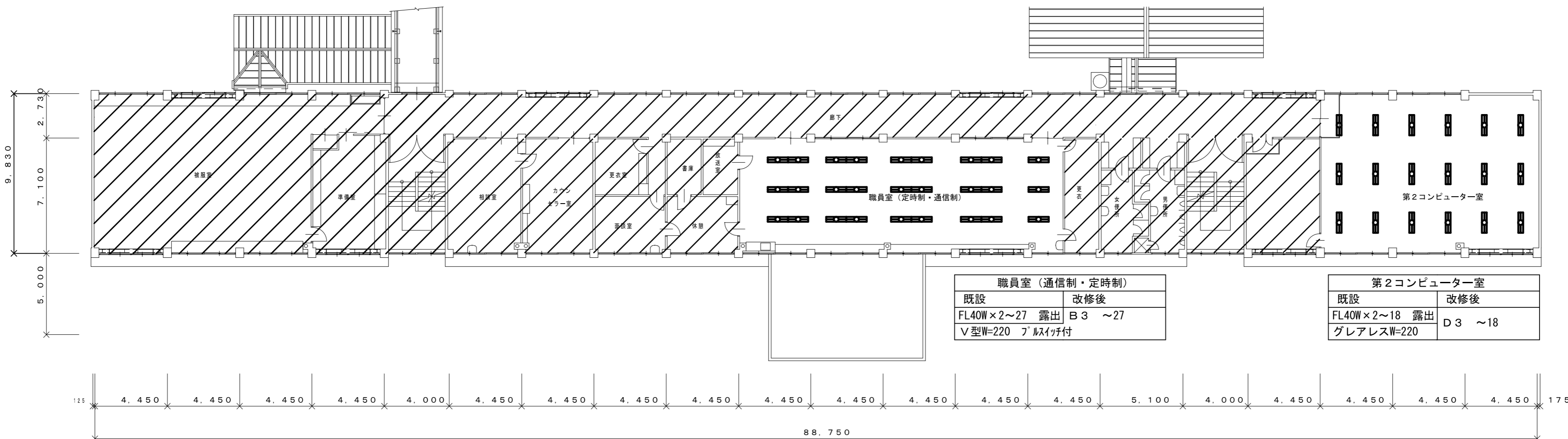
理 科 室	
既設	改修後
FL40W×2~12露出 V型W=220	B 1 ~12
FL40W×1~2埋込 黒板灯W=220	C 2 ~2

コンピュータ室	
既設	改修後
FL40W×2~18 埋込 外形寸法W=230	F 1 ~18
FL40W×1~2パイプ吊 黒板灯W=120	C 1 ~2



3階平面図 S=1/200

: 業務対象外



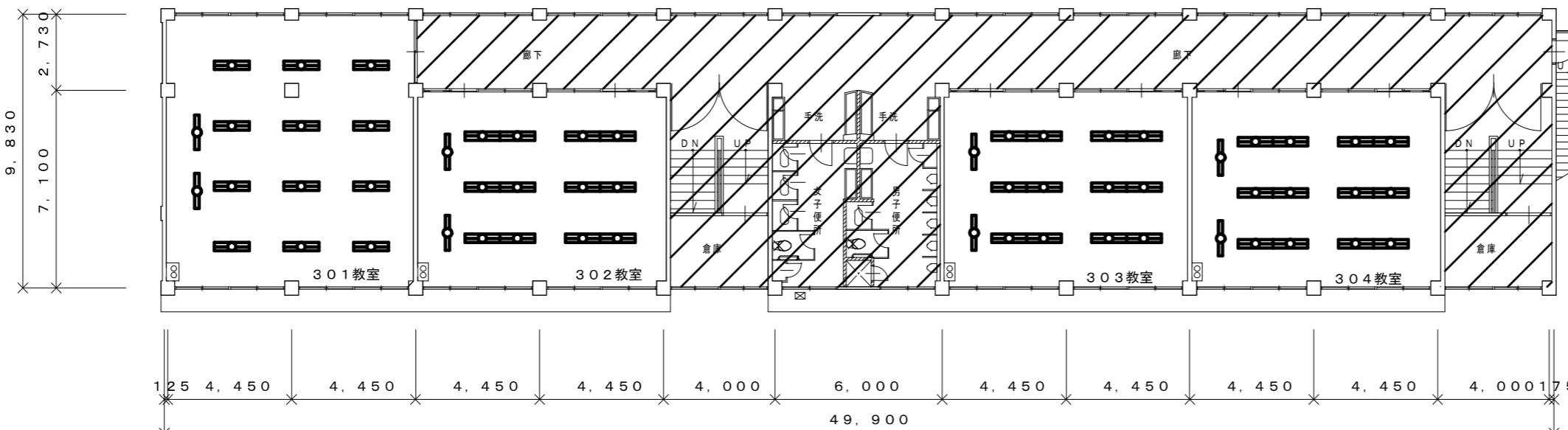
2階平面図 S=1/200

職員室 (通信制・定時制)	
既設	改修後
FL40W×2~27 露出 V型W=220 プルスイッチ付	B 3 ~27

第2コンピュータ室	
既設	改修後
FL40W×2~18 露出 グレアレスW=220	D 3 ~18



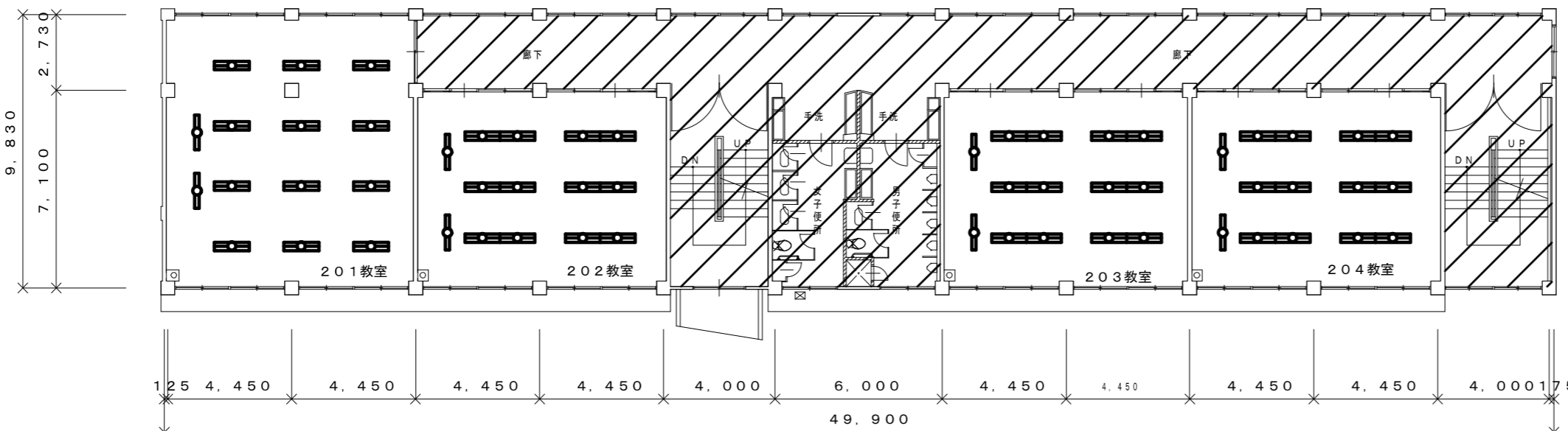
工事名称 県立白鳳高等学校特別教室等照明設備LED化改修工事	図面名称 管理棟2、3階平面図 (既設・改修後)	縮尺 S=1/200	竹尾設備コンサルタント 鳥取県米子市長砂町296-6 TEL 0859(32)2140 2級建築士事務所登録 第05-2003号 二級建築士 竹尾 晃 登録番号 第1830号	承認 	担当	製図 	日付 R 5.12	管理番号	図面番号 E-5/7
-----------------------------------	-----------------------------	---------------	---	--------	----	--------	--------------	------	---------------



業務対象外

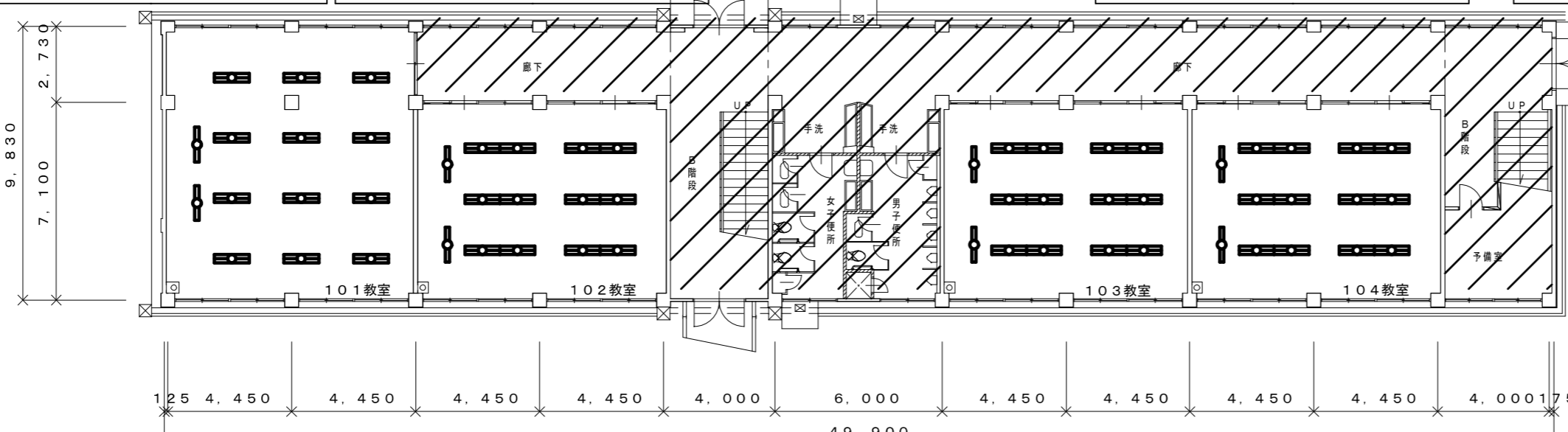
301教室 CH=3,000		302教室 CH=3,000		303教室 CH=3,000		304教室 CH=3,000	
既設	改修後	既設	改修後	既設	改修後	既設	改修後
FL40W×2~12 露出	D 1 ~12	FL40W×2~12 露出	D 2 ~12	FL40W×2~12 露出	D 2 ~12	FL40W×2~12 露出	D 2 ~12
下面開放外形寸法220×1260		下面開放外形寸法220×1260		下面開放外形寸法220×1260		下面開放外形寸法220×1260	
FL40W×1~2直付	C 1 ~2	FL40W×1~2直付	C 1 ~2	FL40W×1~2直付	C 1 ~2	FL40W×1~2直付	C 1 ~2
黒板灯W=120L=1260		黒板灯W=120L=1260		黒板灯W=120L=1260		黒板灯W=120L=1260	

3階平面図 S=1/200



201教室 CH=3,000		202教室 CH=3,000		203教室 CH=3,000		204教室 CH=3,000	
既設	改修後	既設	改修後	既設	改修後	既設	改修後
FL40W×2~12 露出	D 1 ~12	FL40W×2~12 露出	D 2 ~12	FL40W×2~12 露出	D 2 ~12	FL40W×2~12 露出	D 2 ~12
下面開放外形寸法220×1260		下面開放外形寸法220×1260		下面開放外形寸法220×1260		下面開放外形寸法220×1260	
FL40W×1~2直付	C 1 ~2	FL40W×1~2直付	C 1 ~2	FL40W×1~2直付	C 1 ~2	FL40W×1~2直付	C 1 ~2
黒板灯W=120L=1260		黒板灯W=120L=1260		黒板灯W=120L=1260		黒板灯W=120L=1260	

2階平面図 S=1/200

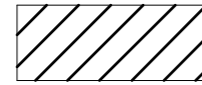


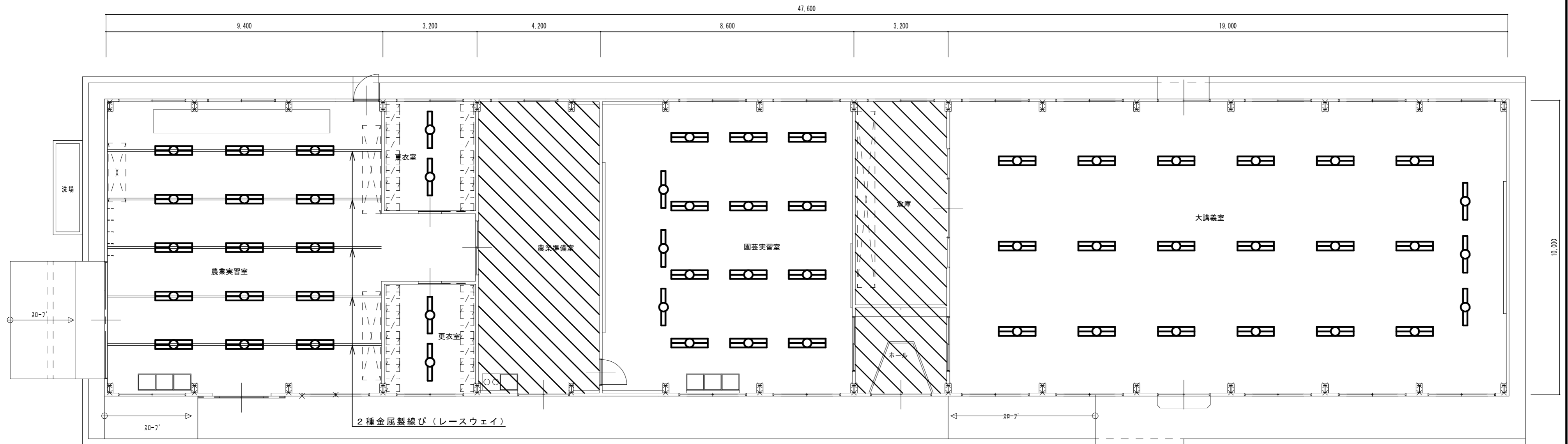
101教室 CH=3,000		102教室 CH=3,000		103教室 CH=3,000		104教室 CH=3,000	
既設	改修後	既設	改修後	既設	改修後	既設	改修後
FL40W×2~12 露出	D 1 ~12	FL40W×2~12 露出	D 2 ~12	FL40W×2~12 露出	D 2 ~12	FL40W×2~12 露出	D 2 ~12
下面開放外形寸法220×1260		下面開放外形寸法220×1260		下面開放外形寸法220×1260		下面開放外形寸法220×1260	
FL40W×1~2直付	C 1 ~2	FL40W×1~2直付	C 1 ~2	FL40W×1~2直付	C 1 ~2	FL40W×1~2直付	C 1 ~2
黒板灯W=120L=1260		黒板灯W=120L=1260		黒板灯W=120L=1260		黒板灯W=120L=1260	

1階平面図 S=1/200



工事名称	図面名称	縮尺	竹尾設備コンサルタント	承認	担当	製図	日付	管理番号	図面番号
県立米子白鳳高等学校特別教室等照明設備LED化改修工事	教室棟1, 2, 3階平面図(既設・改修後)	S=1/200	鳥取県米子市長砂町296-6 TEL 0859(32)2140 2級建築士事務所登録 第05-2003号 二級建築士 竹尾 晃 登録番号 第1830号	竹尾		竹尾	R 5.12		E-6/7

 : 業務対象外



農業実習室 線び高さ=3,000	
既設	改修後
Hf32W×2~15 露出	E 1 ~15
笠付型 線び取付	

更衣室 CH=2,800	
既設	改修後
FL40W×1~4 露出	B 4 ~4
V型 W=120	

園芸実習室 CH=3,000	
既設	改修後
FL40W×2~12 露出	B 1 ~12
V型 W=220	
FL40W×1~3 埋込	C 2 ~3
黒板灯 W=220	

大講義室 CH=3,000	
既設	改修後
FL40W×2~18露出	B 2 ~18
V型 W=220	
FL40W×1~3埋込	C 2 ~3
黒板灯 W=220	

実習棟1階平面図 S=1/100

鳥取県
令和5年度
J2300872
西部環境建築局

工事名称 県立米子白鳳高等学校特別教室等照明設備LED化改修工事	図面名称 実習棟1階平面図(既設・改修後)	縮尺 S=1/100	竹尾設備コンサルタント 鳥取県米子市長砂町296-6 TEL 0859(32)2140 2級建築士事務所登録 第05-2003号 二級建築士 竹尾 晃 登録番号 第1830号	承認 	担当	製図 	日付 R 5.12	管理番号	図面番号 E-7/7
-------------------------------------	--------------------------	---------------	---	---	----	---	--------------	------	---------------